

芦田川

府 中 地 区
介 護 支 援 専 門 員
連 絡 協 議 会
会 報 第 37 号

～がんばれ！ケアマネジャー～

「介護支援専門員の 更新研修について」



小畠病院 佐藤千秋

小畠病院地域連携室の佐藤です。日頃より介護支援専門員（ケアマネジャー）の皆様には病院の後方連携だけでなく入院前連携や外来など、様々な場面で大変お世話になっております。

さて、私は18年前、府中地区医師会のケアマネジャーをしておりました。あれから3回の更新研修を経て、今年4回目の更新を控えています。そのような折「更新研修が無くなるかも？」という話題が飛び込んできました。協議会の広報委員を務めていたご縁から、今回その記事を担当させていただくことになりました。

以下、引用を含みます。

ケアマネジャーは、介護支援専門員証の有効期間が5年とされ、現行制度では更新時に所定の研修受講等が求められています。一方で、現場からは「受講の時間的・経済的負担が大きい」「未受講で資格を失う仕組みが厳しい」といった声もあり、制度の在り方が議論されてきました。

日本介護支援専門員協会も、更新制と法定研修の結び付けを見直す必要性を述べています。厚生労働省の検討会・社会保障審議会（介護保険部会）では、負担軽減と質の確保を両立させる観点から、「更新の仕組み（更新制）を廃止し、研修受講と資格失効を切り離す」方向性が示されています。

ただし、これは現時点では“方針・提案／見通し”の段階で、具体的な制度設計や施行時期は今後の法改正等で検討されるようです。併せて、研修の在り方については、オンライン化・オンデマンド化・分割受講など、受講負担を軽くする仕組みが検討されています。

「現場の私達が注目すべき点は？」

更新制度の見直しが進めば、ケアマネジャーの継続就業にとって「少しだけ楽になる」可能性があります。更新研修の形式変更（オンライン・分割）や研修負担軽減は、実務が多忙なケアマネにもプラスに働くでしょう。これにより、質を維持しながらも離職防止・新規参入促進につながる可能性があります。

勿論、更新研修がなくなると油断するわけにもいきません。常日頃から勉強を重ねていく姿勢でいたいものです。

参考・引用

厚生労働省「ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会」ページ
同 中間整理概要

日本介護支援専門員協会（JCMA）公表（更新制廃止等の意見書提出）
介護保険部会等の動きに関する報道（更新制廃止方針・法改正見通し）など



定例会研修

(2025年10月22日)

2025年10月22日（水）に府中地区介護支援専門員連絡協議会の定例研修として、府中町社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係／生活支援係 課長兼係長 生活支援コーディネーターの 榎山亮先生をお招きし、「傾聴と共感で深める人間関係～自分の強みを生かせる質問力～」の演題で研修をしていただきました。

この研修では、エゴグラムで自分の性格傾向を客観的に理解し、タイプ別の特徴を学びながら、実践的な相談援助のスキル強化につなげることを目標に行われました。

ワークシートにチェックをしていき、自分がどのタイプなのか、そのタイプにはどのような傾向があるのかを把握して



いきます。このように提示されることで、自分を客観的にみることができ、自分の強みや弱み、癖も客観的にとらえることができました。自分は、確かと思うところ、そうなのかなと自分では気づいていない部分もありました。そこを意識することで、今後の面談時の対応や言葉がけに生かされると感じました。

このチェックは、年齢や今後の経験によっても変わってくるそうですので、今後も自分でやってみて、自分を客観的にみていこうと思います。

（ホープ居宅介護支援事業所 介護支援専門員 石田一至）



主任介護支援専門員更新研修の受講要件②に該当する研修

(2025年11月28日)



2025年11月28日（金）、くぼ社会福祉士・FP事務所の防災士・社会福祉士である久保尚文先生を講師にお招きし、「要配慮者の災害対策～BCPを活かすために～」という議題で講義をいただきました。会場はセイフティ信和ショートステイ鶴飼にて開催しました。

研修の後半は、過去の災害時に実際に起きた出来事を紹介していただき、グループごとに対応を考える机上訓練を行いました。

BCP策定が義務化されて以降、BCP策定はできたものの、実際に災害が起きたときに活用できるものかどうか、どのような訓練をしたら良いのかなど、災害時にケアマネとしてどのように動けばよいのか不安がありました。今回のように実際に起きた事例で検討

することで、非常時にどのような視点で判断をするか、冷静に判断ができるかどうかについても、机上訓練を通して視野が広がることができました。事業所としてのマニュアル等を整備することに加えて、訓練の大切さを感じることでできる研修となりました。

（居宅介護支援事業所府中静和寮 主任介護支援専門員 原田玉実）

定例会研修

(2026年1月15日)

2026年1月15日（木）、寺岡記念病院 訪問リハビリテーション・てらおか訪問看護ステーションの田邊弥生先生を講師にお招きし、「高次脳機能障害の理解と支援について～あなたならどうする？見えにくい障害 高次脳機能障害の支援～」の演題で定例研修会を開催いたしました。

高次脳機能障害について、脳の損傷部位と症状などを分かりやすくお話しいただき、より理解を深めることができました。中でも、障害が見えにくく、わかりにくいものであるという点は実感もあり、ご本人に病識がないことも症状の一つであるとのことで、納得できました。

事例の紹介もあり、就労している年齢での発症では、ご本人・ご家族ともに経済面や生活面での不安が非常に大きく、発症後の運転免許の停止も生活への大きな負担となることが分かりました。免許更新前の再開に向けた適性検査におけるリハビリの重要性も感じました。また、当事者の会として、備後地域の失語症の会や、寺岡記念病院の「ふらっと（高次脳機能障害自助グループ）」の紹介もありました。

ケアマネジャーとして、ご本人の病識の少なさにより状態が分かりにくいこともありますが、病前と変わった点についてご家族から丁寧に聴き取り、ご家族の不安に寄り添いながら、介護保険制度、障害福祉サービス、医療制度など適切な支援機関と連携していくことで、在宅生活を少しでも安心して過ごしていただけるよう支援していきたいと考えます。



(てらおか居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 中塚真奈美)

主任介護支援専門員更新研修の受講要件②に該当する研修

(2026年3月26日)

2026年3月26日（木）、府中地区介護支援専門員連絡協議会のブロック研修にて、講師に社会福祉法人 泰清会 サンライズマリン瀬戸 施設長 久保田あけみ先生をお招きし、「セルフケア～自分の気持ちと上手に付き合うために～」の演題にて、講演をしていただきました。

講演では、自身の考え方や出来事の捉え方、意味付けにより感情が変化し、ストレスが生じることを踏まえ、失敗を否定的に捉えるのではなく、貴重な経験として前向きに受け止めることの大切さについて、また、心的負担を軽減し、精神的安定を保つためのセルフケアの重要性について分かりやすく学ぶことができました。

この度の講演で学んだことを活かし、対人援助職としてだけでなく、一人の個人としても、心の安定を保ち豊かな時間を過ごすことが出来るように、マイナス言葉（人に嫌な思いをさせる言葉）を控え、プラス言葉（人を喜ばせる言葉）を使うように意識することから心がけていきたいと思います。



(翁仁会居宅介護支援事業所 主任介護支援専門員 新井教夫)

ケアマネリー放談 (順不同)

【年始の大雪】

てらおか居宅介護支援事業所
佐藤 節子

年末年始広島の実家に子供たちを連れて帰省しました。

2日午後、雪が降り始めた為早めに広島を出発したのですが、その日はなんと、正月寒波の襲来で日本海側を中心に大雪になった日です。

ノーマルタイヤだったため、高速を通らず2号線をゆっくり運転したのですが、それでも4時間かかりました。途中のコンビニのトイレも大渋滞、坂道で立ち往生している車もあり、一時はどうなることかと思ひながら冷や汗をかきながら帰って来ました。

後から知ったのですが、もし高速を使っていたら通行止めに合い、その日のうちに帰れなかった可能性もありました。4時間掛かったとはいえ無事に戻ってきたので年始からラッキーでした。



昨年から皆さんと一緒に働き始め、まだまだ足を引っ張ることが多いですが、一日も早く仕事をこなせるよう経験を積んで頑張っていきたいと思います。

【～推し活中～】

北部地域包括支援サブセンター駅家
長谷川 佳子

人生は一度きり。だからこそ、できる範囲で楽しく、自由に過ごしたい——そんなふうに思う今日この頃です。

最近「推し活」に夢中で、課金も少々。活動終了が迫る「ARASHI」から、口スを引きずる前に気持ちを切り替えようと、次女が「推し活のために働く！」と豪語する「Snow Man」へとシフト中です。

そしてもう一人の大切な“推し”は、かわいい孫ちゃん。マイメロディが大好きで、先日「ばあばとマイメロ、どっちが好き？」と聞いたところ、即答で「マイメロ」。理由を尋ねると「ピンクが好きだから」とのこと。なるほど……。次に会う時は、パー子さんのようなピンクづくしで登場しようかと、さっそく服を買いに行けばあばです。



【休日のひととき】

府中市社協上下居宅介護支援事業所
森井 綾弓

この度、社協上下支所でケアマネジャーとしてお世話になっております。関係各所の皆様、よろしくお願ひいたします。

上下町の白壁や建物・街並みの美しさに毎日癒されます。私はお城や古い町並みを見るのが好きで、なまこ壁や歴史を感じる日本家屋をみるとワクワクします。

先日友人と休日ランチをした後、Googleマップで「近くのカフェ」検索して出てきた『メゾンアンベ (Maizon Anbe)』にたどり着きました。ご存じの方もおられると思いますが福山城公園内にある「安部和助(あべわすけ)」さんの別邸を「福寿会館」として利用しており、洋館部分をカフェにしています。席からは、美しい日本庭園と福山城を臨めます♪おいしいコーヒーと素敵な空間♡で英気を養えたひとときでした♪



広報誌「芦田川」の配布方法が 変わりました

前回まで紙で配布してました府中地区介護支援専門員連絡協議会の広報誌「芦田川」ですが、
沢山のケアマネジャーさんに気軽に見て頂く為、
今後は当会のホームページを活用して配布する事
となりました。

下記のQRよりホームページをご覧頂けますので、
ぜひ皆さんアクセスしてみてください！

URL https://www.fuchu-ishikai.net/?page_id=1227

